

平成30年度 文書館2月企画展(概要)

1 テーマ

「わがまち北九州 あの日あの時」

～ 激動の昭和・平成を振り返る ～

2 概要及び目的

- ・本文書館所蔵の写真・新聞や秘蔵文書などから「わがまち北九州」の昭和・平成を振り返り、人々の胸に今も残る「あの日 あの時」の懐かしい思い出をたどる。
- ・昭和から平成、そして次の時代を迎えようとしている今、合併以前の旧五市のまちや人々の様子や合併後の北九州市の目覚ましい発展を振り返り、次世代に語り伝えていく機会とする。

3 日 時:平成31年2月15日(金)～5月31日(金)

4 場 所:北九州市立文書館

1階ホール（写真・文書など展示コーナー）、2階閲覧室(映像コーナー)

※2階閲覧室「映像コーナー」でDVD視聴「北九州博覧祭 2001」ができるように準備をする。1階ホールにお知らせを掲示する。

5 企画展の資料収集について

※文書館所蔵資料

※文書館寄贈資料

6 展示予定物 147点

(写真パネル 69、資料パネル 9、新聞 13、関係文書・冊子など 56)

7 展示物一覧 次頁以降

★展示ケース内★

■展示総数(文書 29・◇新聞 5・☆その他資料 29) 63 点

A ① 【天皇・皇族 ◇新聞】 5 点

資料番号	資料名	解説	備考
1◇ 新聞	天皇陛下崩御 新年号は「平成」 あす施行	天皇陛下(第百二十四代、御名・裕仁(ひろひと))は、7日午前6時33分、十二指腸乳頭周囲腫瘍＝腺がんのため、皇居・吹上御所で崩御された。87歳8か月のご生涯だった。 【A3×2縦 白黒】	読売新聞 昭和64年 1月7日夕刊
2◇ 新聞	新元号は「平成」 改元きょうから実施	昭和天皇崩御と新天皇陛下の即位を受けて、新しい元号は7日午後の臨時閣議で「平成(へいせい)」と決まり、直ちに交付、8日午前零時施行となった。新天皇陛下は新元号を定めた政令に署名されたのをはじめ公務を始められた。	西日本新聞 平成元年 1月8日
3◇ 新聞	ご足跡しのび悲しみの 県民	慈愛あふれるお姿がいまも 戸畑ちょうちん 何度も降られた	朝日新聞 平成元年 1月8日
4◇ 新聞	思い出の天皇さま 県 内各地	お手植え 昭和33年4月16日小倉市横代の県林業試験場小倉分校(現北九州市総合農事センター)で 溶鉱炉 昭和24年5月19日八幡製鉄所で	朝日新聞 平成元年 1月8日
5◇ 新聞	開かれた皇室を目指し 新天皇陛下お言葉集	新両陛下の歩まれた道 「こうり一つで…」電話でプロポーズ 僕は町の中に住む 中国に大変すまない 【A3×2 白黒】	朝日新聞 平成元年 1月9日夕刊

B ② 【北九州市誕生関連 文書/☆資料】 10 点

資料番号	資料名	解説	発行年
1	専決処分した条例の 議案提出について	B5 ファイル	昭和38年 2月10日
2	条例事跡	B5 ファイル議案書	昭和38年

3	北九州新市庁舎 市民画報 第一巻創刊号	昭和 47 年春に完成を期す「北九州新市庁舎」。小倉城、勝山公園を眼下に高さ 67 ㍎、地下 3 階、地上 15 階、塔屋 2 階、西日本一のマンモス超高層ビル、外装は縦ガラス張り、政令百万都市のシンボルとしても、あいふさわしい。	昭和 44 年 8 月 編集兼発行人 松永光昭
4☆	北九州市制 10 周年記念 アルバム 6		昭和 48 年 2 月 10 日
5☆	レコード SP テレビ西日本制作 軽音楽「北九州音頭」	作・曲：神津 善行 演奏：宮間利之とニューハード・オーケストラ ※平成 4 年槻田幼稚園より寄贈	
	レコード SP テレビ西日本選定・制作 「北九州音頭」	作詞：岩本 宗二郎 作・編曲：神津 善行 歌手：江利 チェミ 演奏：宮間利之とニューハード・オーケストラ	
	レコード LP 合唱組曲「北九州」	作詞：栗原一登 作曲：團 伊玖磨 演奏：九州交響楽団/祇園太鼓、小倉祇園太鼓保 存振興会 合唱：記念混声合唱団、北九州市少年少女合唱団	
	レコード SP 市民憲章のうた「緑のま ちにしませんか」	作詞：山田 正文 作曲：中林 清治 合唱：北九州少年少女合唱団	
	レコード SP 北九州市選定 「北九州市歌」 ※レコードジャケット 市庁 舎の写真 歌詞	作詞：平尾 一男 作曲：長谷川 良夫 指揮：穴山 健 合唱：RKB 放送合唱団 演奏：RKB 放送管弦団	
	レコード SP 北九州市制 15 周年記念 「小倉南音頭」 ※レコードジャケット平尾 台の写真振付・表現有り	作詞：藤 真沙夫 作曲：福島 一美 歌手：桂 百代 音楽：クイーンレコーディングオーケストラ	
	レコード SP 北九州市制 15 周年記念 「小倉南小唄」 ※レコードジャケット 平尾 台の写真振付・表現有り	作詞：杉本 早太 作曲：福島 一美 歌手：桂 百代 音楽：クイーンレコーディングオーケストラ	

	レコード SP ‘火災予防の歌’入選曲 「北九州市防災音頭」 北九州市消防局	作詞:森重 辰義 補作:谷口 廣保 作曲:平田 三昭 補作:末次 寛八 歌 :丹 みどり 演奏:北九州市消防局 音楽隊	昭和 51 年 10 月	
	レコード SP ‘防災音頭’ 「火の用心が合言葉」 北九州市消防局	作詞:谷口 廣保 作曲:名井 輝男 歌 :丹 みどり 演奏:北九州市消防局 音楽隊	昭和 52 年頃	
	レコード SP 起業 80 年記念八幡製鐵 歌「新しき八幡」 ※レコードジャケット 製鐵 所の写真(1901)有り	作詞:土屋 正仁 補作詞:志摩 海夫 作・編曲:前田 憲男 歌手:上条 恒彦、永井 レミ 演奏:前田憲男シンフォニー・オーケストラ		
6	五市合併関係資料 市長用	B5 冊子	4-③ 柳田資料 応募新市名一覧表 応募総数 19292	昭和 37 年
7	五市合併の記録	B5 冊子 P246		昭和 38 年 福岡県発行
8	政令指定都市調査報告 書 門司市総合開発室 五 市合併調査部調査課編	A4 冊子	4-⑳ 柳田資料	昭和 36 年 7 月
9	北九州五市の概況 北九州合併促進協議会	A4 冊子	4-㉑ 柳田資料	昭和 37 年 6 月
10	五市合併に関するアンケ ート一覧 五市合併調査部調査課編	B4 1 枚	4-㉒ 柳田資料 福岡大学、北九州大学、朝日新聞、毎 日新聞 実施	調査日 昭和 34 年8月～ 35 年 12 月

C ③ 【旧門司市・八幡市関連 文書】

4 点

資料 番号	資料名	大きさ	出典	発行年
1	【門司】 「門司トンネル博」 会場案内と門司の話特集	B5 冊子	同盟通信臨時増刊 門司トンネル博記念号 ※実物展示	昭和 33 年 3 月 15 日 同盟通信社発行
2	【門司】 市勢要覧 昭和 32 年版 「門司トンネル博」	B5 冊子 小横	市勢要覧 門司 昭和 32 年度 ※実物展示	昭和 32 年 3 月 30 日 門司市市長室 調査係発行

	※「もじ」の名前の由来【解説】			
3	【門司】 「門司 1959」		市勢の概要 昭和 34 年度 ※実物展示	昭和 35 年 3 月 31 日 門司市役所 総務課発行
4	【八幡】 「八幡 1956」 ※「やはた」の名前の由来【解説】		市勢の概要 昭和 31 年度 ※実物展示	1956 年 八幡市観光協会 発行

C ④ 【旧若松・戸畑市関連 文書】

4 点

資料番号	資料名	大きさ	出典	発行年
1	【若松】 わかまつ 昭和 34 年版 ※「わかまつ」の名前の由来【解説】		昭和 34 年度版 市勢要覧 ※実物展示	昭和 35 年 3 月 31 日 若松市役所発行
2	【戸畑】 戸畑市小史 戸畑市 ◇戸畑市歌 楽譜・歌詞 4 番 昭和 12 年 2 月 11 日制定 ※「とばた」の名前の由来【解説】	B5 半分	戸畑小史 ※実物展示	昭和 29 年 10 月 1 日 戸畑市役所発行
3	【戸畑】 How to See TOBATA 戸畑をしっていたくために	B5 半分	How to See TOBATA ※実物展示	昭和 37 年 戸畑観光課
4	【戸畑】 戸畑祇園大山笠 昭和 35 年版【解説用】 ・昭和 33 年 4 月 16 日、天皇・皇后 両陛下が戸畑市にお泊りになった 時、その御旅情をお慰めしようとして 昇ぎ出されたちょうちん山、あの夜の 感激は、関係者のいつまでも忘れ得 ないことであろう。(表紙 裏)	B5	戸畑祇園大山笠 昭和 35 年版 ※実物展示	昭和 35 年 7 月 10 日 戸畑市教育委員会 発行

D ⑤ 【都市協定 文書/☆その他】 6点

資料 番号	解 説	大きさ	発行年
1☆	ノーフォーク市長から門司市長 柳田桃太郎に宛てた手紙	B5 縦	June 21959
2☆	門司市長 柳田桃太郎からノーフォーク市長へ宛てた手紙	B5 縦	July 14 1959
3	都市提携 3年のあゆみ 小倉一タコマ P13 □昭和33年6月23日三原氏(シアトル日本人会会長)から市長あて来信、ワシントン州タコマ市を斡旋。 □タコマ市の熱意にこたえ、昭和34年6月8日開会の小倉市議会において、タコマとの姉妹都市締結の件が承認された。 6月10日付この旨タコマ市に連絡 □昭和35年3月20日、ケン・ジョンソン氏夫妻をタコマ市代表として迎え、小倉博開会式と同時に姉妹都市提携認証状交換式を行う。	B5 半分 縦冊子	昭和37年 9月20日 小倉市秘書課 発行
4☆	姉妹都市成立 認証状 昭和35年3月20日 小倉市長 林 信雄、タコマ市長 Ben Hanson 「都市と都市との直接の結びつきによって親善を深めることは両国民の恒久的友好関係を樹立することであり、かねて小倉、タコマ両市は姉妹都市成立を表明し来ったのであるが、今回小倉市制施行60周年記念日の本日を以て両市はここに正式に姉妹都市の約束を結ぶものである。これにより両市民間における友情と理解を更に強め両市間の親善関係を永く継続することを誠意をもって認証するものである。」	A3 大 厚紙額入り	昭和35年 (1960年) 3月20日
5☆	日本国北九州市と中華人民共和国旅大市との 友好都市結成に関する議定書 1979年5月1日 日本国北九州市 市長 谷 伍平 中華人民共和国旅大市革命委員会 主任 崔 堇漢 「日中平和友好条約の締結により、両国の関係が新しい時期に入ったときにあたり、本条約の精神にもとづき北九州市と旅大市は、多年にわたる友好交流の基礎のうえに、友好都市関係を正式に結成する。この新しい友好の基礎のうえに、両都市関係者間の定期的または不定期的の会合をはじめ、産業・経済・文化・体育・科学技術・都市建設など各分野にわたる交流を通じ、両都市間の相互理解と友好を深め、あわせて両国間の子々孫々にいたる善隣友好関係の促進に寄与することを念願するものである。ここに、両都市が友好都市として締結することを約定して、北九州市民および旅大市民を代表して署名する。」	A4 大 縦二つ折 (朱布張台紙)	昭和54年 (1979年)

6☆	<p>姉妹都市締結協定書 1988年12月20日 日本国 北九州市長 末吉 興一 大韓民国 仁川直轄市長 李 在昌</p> <p>「日本国北九州市と大韓民国仁川直轄市は、これまで両国間の長い歴史を通じて培ってきた緊密な紐帯と、経済・文化等各分野にわたり維持されてきた友好関係に基づき、相互の友誼増進と協力を通じ、両都市の発展と親善をはかるために、末吉興一北九州市長と李在昌仁川直轄市長が両市民を代表して、両都市間の姉妹都市協定を締結する。</p> <p>1 両市は、行政、教育、経済、社会、文化、科学技術、体育各分野で幅広い交流と友好関係を向上させ、理解増進のために努力する。</p> <p>2 両市は両国間の友好関係に基づき、友誼増進と親善を図り、相互の地域社会発展のために持続的に努力する。</p> <p>本協定を証明するために、両市長は日・韓両国語で作成された協定書に署名し、各々一部ずつ保管する。</p> <p>本協定書は署名した日から効力を発生する。」</p>	A4 大 二つ折 (茶レザ一張)	昭和 63 年 (1988 年)
----	---	------------------------	---------------------

E ⑥【旧小倉市関連 文書/☆その他】 17 点

資料 番号	解 説	大きさ	出 典	発行年
1	<p>名誉総裁(高松宮 宜仁親王)おことば 「わが国有数の工業地帯の要衝を占める小倉市は、本年市制 60 周年の佳き年であり、しかも近き将来、西日本の産業、文化の発展のために活用される造兵廠跡を会場に選んで、福岡圏ならびに小倉市が共同主催により、この企画をなされたことは、良き時と所を得たものと深く敬意を表します。」</p> <p>◇写真 入場式 P12 ◇名誉総裁お言葉 P29</p>	A4 横長 冊子	市制 60 周年記念「伸びゆく北九州」小倉大博覧会 会誌 1960 年 (表紙 赤) ※実物掲示	昭和 36 年 3 月 20 日 小倉市役所発行
2	<p>緒言のことば 「省略～グレート小倉の復興成る！」造兵廠の小倉移転、矢継早の近接町村合併、小倉築港の完成を控へ小倉市八萬市民の心臓は甦生の春を迎える喜びに快い鼓動を打ち続けてゐる。財界パニックに加へ突如十二師団久留</p>	A4 弱横 47 ページ 冊子	市制施行三十周年記念誌 こくら ※実物掲示	昭和 5 年 6 月 30 日 鉄道通信局発行

	米移転のショックを受けて茲に六年目、今こそ まことの復興の陽春がのぼりきたのだ。四月十 九日小倉市においては市制施行三十周年及 び造兵廠移転記念の祝典を挙げ、将来により 幸多かれと祝福した。これを記念する為『こくら』 は改定増補して発行する譯である。 昭和5年春 著者識			
3	◇小倉一タコマ 都市提携 ※P14～15	B5 半分 冊子	提携3年のあゆみ 小倉一タコマ 1962 (表紙 青)	昭和37年9月 20日小倉市秘 書課発行
4	◇小倉城 P7【解説用】 「今の小倉城は昭和35年に鉄筋コンクリートで 復元したもので、南蛮造りといわれた昔のおもか げを伝えています。石垣は自然のままの石を積み あげたもので非常に珍しいものだといわれて います。」	B5 55ページ 冊子	Kokura こくらのあゆみ ※実物 掲示	1963年 (昭和38年) 2月9日 小倉市発行
	◇こくらのあゆみ P10【解説用】 「明治33年4月1日に市政が施行されたとき は、人口はわずか30,075人、世帯数は4,315 にすぎませんでした。それが63年を経た今日 では、当時の10倍をこえる人口にまで発展して います。さらに北九州五市合併によって、100 万人をこえる大都市になります。」 □写真入り地図あり	B5 55ページ 冊子	Kokura こくらのあゆみ ※実物 掲示	1963年 (昭和38年) 2月9日 小倉市発行
	◇小倉城 P7【解説用】 「今の小倉城は昭和35年に鉄筋コンクリートで 復元したもので、南蛮造りといわれた昔のおもか げを伝えています。石垣は自然のままの石を積み あげたもので非常に珍しいものだといわれて います。」	B5 55ページ 冊子	Kokura こくらのあゆみ ※実物 掲示	1963年 (昭和38年) 2月9日 小倉市発行
	◇こくらのあゆみ P10【解説用】 「明治33年4月1日に市政が施行されたとき は、人口はわずか30,075人、世帯数は4,315 にすぎませんでした。それが63年を経た今日 では、当時の10倍をこえる人口にまで発展して います。さらに北九州五市合併によって、100 万人をこえる大都市になります。」 □写真入り地図あり	B5 55ページ 冊子	Kokura こくらのあゆみ ※実物 掲示	1963年 (昭和38年) 2月9日 小倉市発行

	<p>◇よい子の学校 小学校 P23</p> <p>□写真と昭和 37 年小倉市各小学校 「学級数・生徒数・教員数」表と写真</p> <p>◇中学校 P24</p> <p>富野中学校の円型校舎</p> <p>「特徴のある校舎として眼をひきますが、通風、採光、音響、歩行距離、経費などいろんな点で利点があるといわれています」【解説用】</p> <p>□写真と昭和 37 年小倉市各中学校 「学級数・生徒数・教員数」表と写真</p>	B5 55 ページ 冊子	Kokura こくらのあゆみ ※実物掲示	1963 年 (昭和 38 年) 2 月 9 日 小倉市発行
5	<p>発刊によせて P1</p> <p>小倉市教育長 三輪 喜一郎 ※開いて置く 「省略～やがて誕生する北九州市に、小倉の歴史と伝統ある文化活動の歩みが、さらに新しい思考と、古い文化への憧憬と探求に生きつづけ、百万都市の明日を画く大きな推進力として、輝かしい前進を続けられますことを祈ります。」</p>	B6 冊子	小倉文化 北九州市合併記念 ※実物掲示	昭和 38 年 2 月 1 日 小倉市教育委員会 小倉市芸術連合 発行
6☆	<p>【小倉】掲示物 米町方面 未使用</p>	B6 大 横綴	市立小倉病院 施療券 ※実物展示	昭和 7 年 1 月
7☆	<p>市立小倉病院施療券(八月份) 小倉市板櫃西原町279 湯屋傭火夫戸主 ○○○ □注意書き 【解説用】 「本券は来院ノ都度持参シ受付へ差出 スベシ」「本券ハ発行當月末限り有効 ニ付月末ニ病院へ提出シ翌月文ハ更 ニ交付ヲ受クヘシ」 「診察時間、毎日 自午後二時 至午後三時」</p>	B6 横綴	市立小倉病院 施療券(毛筆) ※実物 掲示	昭和 12 年 8 月 4 日交付 小倉市長 神崎慶次郎 交付
8☆	<p>【小倉】 ※実物展示</p>	B6 小 縦綴	市立小倉病院用 軍人・軍属 家族診療券	昭和十九年二 月一日小倉市 役所交付
9	<p>【小倉】 □表紙の裏 「この書は、北九州市の発足にともない 小倉市教育委員会の発展的解消を契機として、その沿革を、永久に留め置くことを目的に編集されたものである」</p>	冊子	小倉市教育委員会 沿革史「航跡」 ※実物展示	昭和 38 年 2 月 9 日 小倉市教育委員会 教育長 三輪喜一郎

10	<input type="checkbox"/> 旧五市概況、旧五市シンボルマーク <input checked="" type="checkbox"/> 門司市、小倉市、八幡市、若松市、戸畑市	A4 横 左綴	北九州五市 社会福祉のあゆみ 民生委員法十周年記念 第十一回全国民生・児童委員大会記念号 ※実物展示	昭和 31 年 旧五市社会福祉協議会（小倉・門司・八幡・戸畑・若松）
11	<input type="checkbox"/> 復元を待たれる‘勝山城天守閣’ 表紙裏 【解説用】 「勝山城は小倉城、勝野城またの名を湧金城ともいい、古くは指月城と言われていたが、天保 8 年正月 4 日小笠原侯の時代に失火全焼その後 3 階建の天守閣を建てたが、慶応 2 年防長戦争で自焼した。この城が復元された暁は、城内を郷土博物館として学生生徒の研究資料に、また観光客の観覧に供するように計画されている。	B5 縦冊子	市政画報 こくら創刊号 ※実物展示	小倉市調査課 広報係 昭和 31 年 11 月 1 日発行
12	<input type="checkbox"/> 病気や怪我をしたら P2～3 「必ず受診証を病院の窓口に出して診察や手当を受けます」「診察や手当が終わったら、診療報酬の半額を医師または、病院の窓口で支払ってください」	B5 縦冊子	市政画報 こくら第 3 号 ※実物展示	小倉市調査課 広報係 昭和 32 年 3 月 30 日発行
	<input type="checkbox"/> 県協会住宅 P2～3 「住宅はどのように不足しているか」	B5 縦冊子	市政画報 こくら第 5 号 ※実物展示	小倉市調査課 広報係 昭和 32 年 7 月 31 日発行
13	イラスト(カラー) 【解説用】 <input type="checkbox"/> バナナの叩き売り(昭和中期頃まで) <input type="checkbox"/> とんがらし売り(昭和 5-6 年頃まで) <input type="checkbox"/> アサリ売り <input checked="" type="checkbox"/> さお竹売り <input type="checkbox"/> あめ売り(昭和 2-3 年頃まで) <input type="checkbox"/> 赤豆ちゃん(昭和 15-16 年頃まで)	A4小 右綴じ	北九州 触れ売りの聲 ※実物展示	昭和 36 年 11 月発行 著者：大隈岩雄（非売品限定 50 部）
14☆	全国競輪祭 発祥の地に集ふ、小倉市 <input checked="" type="checkbox"/> 写真 L サイズ 3 枚(観客席の様子・トラック様子・表彰台の様子)		全国競輪祭 記念アルバム	昭和 26 年
15☆	小倉市役所「火災」 <input checked="" type="checkbox"/> 現物写真 ①玄関 ②秘書室 ③助役室	L サイズ	小倉市 アルバム 1	
16	小倉市政の象徴 待望の市庁舎落成 <input checked="" type="checkbox"/> P2(カラー写真)	冊子 A4 横	市政業展のあしあと 1954 小倉市	昭和 30 年 2 月 28 日発行

17	昭和 35 年 3 月 20 日 小倉市とタコマ市が姉妹都市提携認証状交換式 ※P11/12 ※姉妹都市成立認証状 ※市制 60 周年を記念して開催された伸びゆく北九州小倉大博覧会(写真) ※博覧会開会日にご臨席の高松宮殿下	B5 小冊子	小倉六十三年小史	昭和 38 年 2 月 9 日発行
----	--	--------	----------	----------------------

F ⑦ 【その他 切手(4) 公印(13)】 17 点

資料番号	資料名	解説	発行年
1☆	北九州市発足記念切手		昭和 38 年 2 月 10 日発行
2☆	関門トンネル開通記念切手		昭和 33 年 3 月 9 日発行
3☆	若戸大橋開通記念切手		昭和 37 年 9 月 26 日発行
4☆	関門橋開通記念切手アルバム	昭和 48 年 11 月、関門橋の開通を記念して当時の郵政大臣・久野忠治氏が印刷一号の切手シート 40 枚分をアルバムにして当時の市長 谷伍平氏に贈ったもの (平成 2 年 1 月 10 日 毎日新聞記事より)	昭和 48 年 11 月発行 平成 2 年 1 月 10 日谷伍平氏より文書館に寄贈
5～ 17☆	旧五市の公印	門司市(3ヶ)、小倉市(1ヶ)、 若松市(2ヶ)、八幡市(1ヶ)、戸畑市(6ヶ)	

★掲示板 写真パネル★

■展示総数(★写真パネル 69・◇新聞パネル 8・☆資料パネル7) 83 点

①「旧五市から北九州市へ」【★写真/☆資料】 (11+2)点

資料 番号	内 容	解 説	大 小	備 考
1★	旧五市の市長さん 記念写真		額入り A3×2 白黒	昭和 24 年 [住まい]
2☆	北九州市 「新しい市庁舎」 上空からの写真	新市庁舎周辺を上空より撮影 冊子「新しい市庁舎」表紙裏～P1		昭和 47 年 3 月撮影 広報課発行
	「市民を守る城」 谷市長挨拶	谷市長あいさつ文 「合併して 10 年目、市民のみなさんご協力により、ようやく新市庁舎が完成しました。…」	冊子「新しい市庁舎」表紙裏～P1 A3 縦半分	昭和 47 年 3 月撮影 広報課発行
3☆	「旧五市歴代市長」 一覧表 第 131 表	歴代旧五市の市長		北九州市史 近代現代 行政・社会 P1068
4★	祝北九州市発足		A3 横	昭和 38 年
5★	合併後の初議会		A3 横	昭和 38 年 3 月 [読売 20]
6★	初代 北九州市長 「吉田 法晴氏」 北九州市旗を持つ	昭和 38 年～昭和 41 年 (1 期)		新修・北九州市史
7★	2代 北九州市長 「谷 伍平氏」	昭和 42 年～昭和 61 年 (5 期)		1983 市政要覧 P9
8★	3代 北九州市長 「末吉 興一氏」	昭和 62 年～平成 18 年 (5 期)		新修・北九州市史 写真集 P172
9★	4代 北九州市長 「北橋 健治氏」	平成 19 年～		新修・北九州市史 写真集 P212
10★	門司港駅			市制 50 周年記念事業 関連「懐かしの写真パネル」 文書館所蔵
11★	小倉駅			
12★	若戸大橋			
13★	小倉城とジェットコースター			

②「天皇・皇族関係Ⅰ」【★写真(1)☆資料(1)◇新聞(5)】 7点

資料番号	内容	解説	大きさ	発行年
1★	昭和天皇陛下、皇后陛下		A3×2横カラー	額入り写真
2◇	天皇陛下 崩御 明仁親王 ご即位	新天皇即位に伴い、皇后良子(ながこ)さまは皇太后となられ、皇太子妃美智子さまが新しい皇后に、浩宮徳仁(なるひと)新王が新しい皇太子へと、それぞれご身分が変わられた。新しい天皇陛下のお年は55歳。皇太子殿下は28歳。皇太后陛下は85歳。	A3×2 白黒	朝日新聞 昭和64年 1月7日夕刊
3◇	ご重責 新天皇皇后両陛下	・新天皇陛下 ・新皇后陛下 ・新皇太子殿下		毎日新聞 昭和64年 1月7日
4☆	明治以降の皇族系 顔写真入り(資料パネル)		A3×2枚	週刊朝日 増刊号 平成元(1989)年 1月25日発行
5◇	海外とも広くご交流	・ブルガリア訪問 ・ホワイトハウス晩餐会 ・インド タジ・マハール訪問		朝日新聞 夕刊 平成元年1月9日
6◇	歩み伸びやか両陛下	・ご結婚式を終えて馬車で ・日光の夏をおそろいで		朝日新聞 夕刊 平成元年1月9日
7◇	新皇后陛下お言葉集	・新皇太子の横顔 ・伸び伸び次男坊 ・おちゃめなプリンセス		西日本新聞 平成元年1月8日

③「まちかど 小倉Ⅰ」 写真 8点

資料番号	内容	解説	大きさ	発行年
1	魚町商店街	青天井の魚町商店街。宝飾店や履物店が軒を連ねた。和服の女性の姿が見られる。	A3横 読売5	昭和14年 1939年頃
2	魚町電車通	小倉井筒屋から見下ろした魚町電車通り。路面電車やバス、乗用車が行きかう。	読売6	昭和28年 1953年頃

3	歳末商戦 魚町商店街	歳末商戦でにぎわう魚町商店街。 いざなぎ景気にわき、消費は右肩 上がりに伸びた。	読売 10	昭和 45 年 1970 年
4	小倉競輪場	一等賞金 1000 万円の宝くじ発売。 売り場には、一攫千金の夢を求め て長い列が出来た。【小倉競輪場】	読売 16	昭和 48 年 1973 年 12 月
5	明日は元日 魚町付近	明日は元日。日本髪を結う女性も 珍しくなかった。美容院から洋服姿 で帰る女性。	読売 17	昭和 51 年 1976 年
6	旧小倉駅	改築のために解体される旧小倉 駅。東側にステーションビルができ て小倉駅になり、西小倉駅として生 まれ変わった。	読売 23	昭和 47 年 1972 年 2 月
7	オイルショック	ちり紙やトイレットペーパーの制限	読売 15	昭和 48 年
8	新幹線 九州乗入れ	新幹線九州乗入れを半年後に控 えて「ひかり」が試運転。見物人に 交じて市職員が騒音を測定した。	読売 27	昭和 49 年 1974 年 10 月

④「まちかど 五市合併」【★写真/☆資料】 (8+3)点

資料 番号	内 容	解 説	大 き さ	発 行 年
1★	北九州市誕生	アドバルーン	A4 横	川原
2★	開庁式前の公園	噴水の前、子どもたちの背中	A4 横	川原
3★	お祝いに集まった ミス親善大使		A4 横	川原
4☆	あすは二百万都市 北九州”夢の構想図	10-⑦ 柳田資料 毎日新聞夕刊	A3 横 2 枚 毎日新聞 柳田資料	昭和 37 年 7 月 12 日
5★	世界初の五市対等合併 によって北九州市が発足	開庁式	A3 横	昭和 38 年 2 月 読売 19
6☆	合併だより 2 号	4-⑫ 柳田資料 合併までの日程など	A3 縦 2 枚 柳田資料	パネル 昭和 37 年 7 月 1 日号
7☆	愛称ください”北九州市 ”応募期間 4/1~5/10	4-⑫ 柳田資料 五市合併に伴う応募都市名一覧表		

8★	【小倉】 五市合併時	五市合併によって北九州市が誕生したこの年、小倉北区明和町で読売新聞西部本社の建設が始まった。上空から米町方面を望む。左上方のビルは九電の新小倉ビル。	A3 横 読売1	昭和 38 年 (1963)
9★	【小倉】 五市合併時 3と同じ位置からの写真	同じ位置から撮影した現在の街並み。ビルで埋まった。左上方ののっぽビルは、リーガロイヤルホテル小倉。	A3 横 読売2	平成 15 年 (2003)12 月
10★	【小倉】 五市合併時 湯川方面	建設地上空から湯川方面を望む。水田が点在する。右端に白く見えるのは三萩野陸上競技場。	A3 縦 読売3	昭和 38 年 (1963)
11★	【小倉】 五市合併時4と同じ位置からの写真	同じ位置から撮影した現在。陸上競技場跡にメディアドームが建った。	A3 縦 読売4	平成 15 年 (2003)12 月

⑤「北九州市 平成のまちかど」 写真 10 点

資料番号	内 容	解 説	大きさ	発行年
1	【八幡】 スペースワールド開業	宇宙をテーマにしたテーマパーク「スペースワールド」が新日鐵八幡製鉄所の工場跡地に開業した。市を代表するレジャー施設の誕生。	A4 縦カラー 読売 29	平成 2 年 4 月
2	【八幡】 八幡東区・ スペースワールド		L版横 2.5枚 川原氏パノラマ	
3	【若松】 よみがえった洞海湾	よみがえった洞海湾。今や 110 種の魚介類が生息。漁業も復活し、定置網にはスズキやブリがかかる。	A3 縦 読売 38	平成 13 年 12 月
4	【小倉】 さよなら電車	マイカーの普及で姿を消す路面電車。さよなら電車は大勢の市民がねぎらいの言葉をかけられて発射した。小倉北区砂津。	A3 横 カラー 読売 30	平成 4 年
5	【若松】 風力発電	晴れ渡った青空。風力発電の羽根が回る。公害を克服した現在、エコタウンを目指す環境都市に。	A3 横 読売 35	平成 15 年

6	【小倉】 小倉駅前 そごう		黒額縁	平成5年
7	【小倉】 いとづの森公園 生まれかわる	68年間、市民に親しまれてきた「いとづ遊園」が「到津の森公園」として生まれ変わり、開園初日、多数の親子連れたちが詰めかけた。【カラー】	A3 縦 読売 32	平成 14 年
8	【八幡】 黒崎駅周辺		A4 横 オ 51	昭和 56 年
9	【八幡】 黒崎駅周辺 ペDESTリアンデッキ	黒崎駅前周辺。右側は 54 年に開店した黒崎そごうをキーテナントとするメイト黒崎ビル。歩道橋で国鉄の駅、西鉄の駅と商業ビルが結ばれたが、駅は昔のまま。	A4 大横 オ 49	平成5年
10	【小倉】 北九州リバーアスロン 大会	アユが戻り、市民の癒しの場ともなった紫川。泳ぐことも出来るようになり「北九州リバーアスロン大会」もスタート。 【小倉北区 市役所横】【カラー】	A3 横 読売 40	平成 11 年

⑥「まちかど 小倉Ⅱ」 写真 12 点

資料 番号	内 容	解 説	大 き さ	発 行 年
1	旧小倉警察署		A4 横 川原	昭和34年頃
2	夏休みスタート	元気にラジオ体操	A3 横 読売 13	昭和 47 年
3	旧小倉駅	解体直前の旧小倉駅	A4 横 3 枚 パノラマ	昭和 40 年
4	フラフープ		A3 横 住まい	昭和 33 年
5	ジェットコースター		A4 横 オ 19	昭和 38 年
6	小倉駅	人力車が見られる小倉駅	A3 縦 50 周年	昭和 33 年
7	紫川と勝山橋		A3 横小 住まい	昭和 21 年
8	桶の修理屋さん		A4 横 オ 31	昭和 33 年
9	竹の子族	小倉城周辺の竹の子族 流行は原宿から北九州へ	A3 横白黒 読売 18	昭和 57 年
10	小倉造兵廠	小倉造兵廠 砲弾の検査風景	A3 大横 住まい	昭和 18 年

11	新小倉駅完成		黒額縁	昭和 33 年
12	モノレール	全国初の都市型モノレール	A3 横 読売 28	昭和 56 年

⑦「まちかど 門司・八幡」 写真 10 点

資料 番号	内 容	解 説	大 小	発行年
1	新日本八幡製鉄所 ボーナス	新日鐵八幡製鉄所のボーナス。支給総額 47 億円。当時は現金で、銀行員は袋詰めに追われた。 【富士銀行 八幡支店】	A3 横 読売 12	昭和 45 年 12 月
2	皿倉山頂遊園地		A3 横 50 周年	昭和 40 年
3	消えゆく国鉄関門連絡 船「長水丸」		A3 横大 読売	昭和 39 年 10 月
4	春闘西鉄スト突入	春闘で西鉄労組がストに突入。電車、バスなどが止まり、トラックの荷台に乗って出勤するサラリーマン。 【八幡西区紅梅バス停付近】	A3 横 読売 11	昭和 45 年 12 月
5	「死の海」洞海湾	死の海」と呼ばれた洞海湾で行われたヘドロ除去のしゅんせつ。酸性の強い海水は船のスクリューも溶かした。	A3 横 読売 37	昭和 45 年 5 月
6	工場街の煙突	八幡市桃園アパート屋上にて(現・八幡東区)アパートの向こうには、工場街の煙突が見える。まだ公害が深刻になる前。	A4 横 思い出	昭和 33 年 5 月
7	帆柱ケーブル	八幡市を眼下に開通した帆柱ケーブル	A4 横 思い出	昭和 32 年
8	関門橋完成 開通前ダンブ		A3 横 読売 25	昭和 48 年
9	完成した関門橋	歩行者天国 完成した関門橋では開通前、歩行者天国として開放された。中央分地帯越しに握手を交わす北九州、下関市民もいた。	A3 縦 読売 26	昭和 48 年
10	起業祭縁日	八幡市起業祭の縁日にて	A4 横 川原 8	

⑧「まちかど 若松・戸畑」 写真 9点

資料番号	内容	解説	大きさ	発行年
1	若松貨物電車		A3×2 小横 住まい オ 36	昭和 46 年
2	戸畑文化ホール 戸畑祇園提灯大山笠 競演会	川原氏 パノラマ	A4 横 2 枚 川原パノラマ	昭和 40 年頃
3	若戸渡船ラッシュ時	「昭和 36 年の若戸渡船」ラッシュ時には貨物船で通勤していたが、若戸大橋開通後廃止になる。	オ 36 A4 縦 思い出	昭和 36 年
4	水害の日	戸畑浅生通り	A4 横 川原 8	昭和 37 年 7 月
5	高塔山から若戸大橋 を望む	北九州市誕生の日	A4 横 川原 10	昭和 38 年
6	紙芝居	若松区の路地。すでにテレビも普及していたがまだまだ人気。坊や早く走って来ないと終わっちゃうよ。 (大・小)	A4 縦 思い出	昭和 46 年
7	岩田屋オープン	戸畑岩田屋オープンの日	A4 横 川原 8	昭和 40 年
8	たこ焼やの店先	たこ焼やの店先で友達とチャンバラ片手に何やら楽しげな笑顔の男児。「たこ焼代 五ツ十円」の文字が懐かしい。	A4 横 思い出	昭和 37 年頃
9	【若松】 若戸大橋建設中	若松港より建設中の若戸大橋を望む		昭和 37 年 10 月 19 日

⑨「天皇・皇族関係Ⅱ」【◇新聞3 ☆資料1】 4点

資料番号	内容	解説	大きさ	発行年
1☆	元号と歴代天皇 一覧		A3×3枚	読売新聞 平成元年 1 月 8 日
2◇	皇太子妃に 小和田雅子さん	「29 歳の外交官」、皇太子さまの略歴、雅子さんの略歴、「健やかに晴れやかに おめでとうニュープリンセス」		毎日新聞 号外 平成 5 年 1 月 6 日

3◇	ロイヤルカップル おそろい会見	皇太子さま「あなたを全力で守る」 雅子さま「殿下の言葉を信じて」		読売新聞 号外 平成5年1月19日
4◇	皇太子さま雅子さま ご結婚	「皇居・賢所で厳かに」 「華麗に伝統絵巻」		読売新聞 号外 平成5年6月9日

★展示状況★

1	旧五市から北 九州市 関係(13) 写真パネル 11枚 資料パネル 2枚	1	1	門司港駅	昭和5~6年
		2	2	小倉城とジェットコースター	昭和36~37年頃
		3	3	小倉駅完成	昭和38年
		4	4	関門橋見学会	昭和48年
		5	5	旧五市市長記念写真 A3×2小横	昭和24年
		6☆	6	旧五市市長一覧表	
		7	7	祝北九州市発足を祝う魚一銀天街	昭和38年
		8	8	初代 吉田法晴 市長 A4横 市旗制定時	昭和38年
		9☆	9	新しい庁舎上空から “市民を守る城”谷伍平市長挨拶 A3縦半分	
		10	10	合併後の初議会	昭和38年
		11	11	2代 谷伍平 市長 A4横	昭和38年
		12	12	3代 末吉興一 市長 A4横	
		13	13	4代 北橋健治 市長 A4横	
2	天皇・皇族 関係(7) 写真パネル 1枚 資料パネル 1枚 新聞 5枚	1◇	14	天皇陛下崩御(明仁親王ご即位)A2縦	昭和64年1月7日 朝日夕刊
		2☆	15	明治以降 皇族図(顔写真入り)A2縦 パ	
		3★	16	昭和天皇・皇后陛下(金縁額入り) 記念写真 A2横	年代不明
		4◇	17	海外とも広くご交流	平成元年1月9日 朝日夕刊
		5◇	18	歩み伸びやか両陛下	平成元年1月9日 朝日夕刊
		6◇	19	ご重責 新天皇皇后両陛下	平成元年1月8日 毎日夕刊
		7◇	20	伸び伸び次男坊 温もりに包まれて おちゃめなプリンセス	平成元年1月9日 西日本
3	まちかど 小倉 I (8)	1	21	魚町商店街 和服の女性のすがた A3横	昭和14年
		2	22	魚町電車通り 路面電車やバス乗用車 A3横	昭和28年
		3	23	歳末商戦 魚町商店街 A3縦	昭和45年
		4	24	小倉競輪場 一等賞金1,000万円 A3横	昭和48年
		5	25	明日は元日 日本髪を結う女性 A3縦	昭和51年
		6	26	旧小倉駅 東側にステーションビル A3横	昭和47年
		7	27	オイルショック A3縦	昭和48年
		8	28	新幹線九州乗入れ A3横	昭和49年

4	まちかど 五市合併 (11) 写真パネル 8枚 資料パネル 3枚	1	29	五市合併時 湯川方面を見る A3 縦	平成 15 年
		2	30	五市合併時 小倉 A3 横	平成 15 年
		3	31	五市合併時 湯川方面を見る A3 縦	昭和 38 年
		4	32	五市合併時 小倉 A3 横	昭和 38 年
		5	33	北九州市誕生	昭和 38 年 2 月 11 日 川原
		6	34	北九州市開庁式	
		7	35	お祝いに集まったミス親善大使	昭和 38 年 2 月 11 日 川原
		8☆	36	あすは二百万都市北九州夢の構想図 パ	昭和 37 年 7 月 12 日
		9	37	開庁式前の公園	昭和 38 年 2 月 11 日 川原
		10☆	38	合併だより 2 号「愛称ください」 パ	昭和 37 年 7 月 1 日 号
		11☆	39	新市名応募一覧 五市合併に伴う応募	昭和 38 年
5	まちかど 平成(10)	1	40	紫川北九州リバーアスロン大会 A3 横 読売 40	平成 11 年
		2	41	いとづの森公園 A3 縦カラー 読売 32	平成 14 年
		3	42	小倉駅駅前・そごう	平成 5 年
		4	43	黒崎駅周辺 オ 51	昭和 56 年
		5	44	風力発電 A3 横 読売 35	平成 15 年
		6	45	さよなら西鉄路面電車 A3 横	平成 14 年
		7	46	よみがえった洞海湾 A3 縦 読売 38	平成 13 年 12 月
		8	47	スペースワールド A3 縦 カラー 読売 29	平成 2 年 4 月
		9	48	スペースワールド 川原パノラマ	
		10	49	黒崎駅周辺 ペDESTリアンデッキ オ 49	平成 15 年
6	まちかど 小倉Ⅱ(12)	1	50	小倉造兵廠 A3 大横 住まい	昭和 18 年
		2	51	新小倉駅完成	昭和 33 年
		3	52	小倉駅 人力車 A3 横 50 周年	昭和 33 年
		4	53	紫川と勝山橋 A3 大横 住まい	昭和 21 年
		5	54	桶の修理やさん A4 横 オ 31	昭和 33 年
		6	55	小倉城周辺(竹の子族) A3 縦 読売 18	昭和 57 年
		7	56	フラフープ小倉市内 A2 横(正方形) 住まい	昭和 33 年
		8	57	解体直前の旧小倉駅 A3 横 パノラマ	昭和 40 年
		9	58	都市型モノレール A3 横 読売 28	昭和 56 年
		10	59	旧小倉警察署 A4 横 川原	昭和 34 年頃
		11	60	ジェットコースター A4 横 オ 19	昭和 38 年

		12	61	夏休みスタート元気にラジオ体操 A3 横 読売 13	昭和 47 年
7	まちかど(10) 八幡・門司	1	62	関門橋完成 開通前ダンプ走行 A3 横 読売 25	昭和 48 年
		2	63	完成した関門橋 歩行者天国 A3 縦 読売 26	昭和 48 年
		3	64	春闘 西鉄スト突入 A3 横 読売 11	昭和 45 年 12 月
		4	65	帆柱ケーブル 市制 50	昭和 32 年
		5	66	「死の海」洞海湾 A3 横 読売	昭和 45 年 5 月
		6	67	工場の煙突 A4 横 思い出	昭和 33 年 5 月
		7	68	起業祭 縁日	昭和 40 年頃
		8	69	新日鉄八幡製鉄所ボーナス A3 横 読売 12	昭和 45 年 12 月
		9	70	皿倉山頂遊園地 A3 横 50 周年	昭和 40 年
		10	71	消えゆく国鉄関門連絡船「長水丸」	昭和 39 年 10 月
8	まちかど 若松・戸畑 パノラマ (9)	1	72	若松貨物電車 A2 横 住まい	昭和 46 年
		2	73	若戸渡船ラッシュ時 A4 縦 才 36 思い出	昭和 36 年
		3	74	戸畑文化ホール 戸畑祇園提灯大山笠競演会	昭和 40 年頃
		4	75	水害の日 戸畑浅生通り 川原 8	昭和 37 年
		5	76	若戸大橋と高塔山ロープウェイ 川原 10	昭和 38 年
		6	77	紙芝居 A4 縦 思い出	昭和 46 年
		7	78	戸畑岩田屋オープン 川原 8	昭和 40 年
		8	79	たこ焼き屋の店先 A4 横 思い出 パ	昭和 37 年
		9	80	若松港より建設中の若戸大橋を望む	昭和 37 年
9	天皇・皇族 関係(4) 新聞 3 枚 資料パネル1	1☆	81	元号と歴代天皇 A3 縦×1, 5 パ	読売新聞 平成元年
		2◇	82	皇太子妃に小和田雅子さん ・29 歳の外交官	毎日新聞 号外 平成 5 年 1 月 6 日
		3◇	83	ロイヤルカップル おそろい会見 ・あなたを全力で守る ・殿下の言葉を信じて	読売新聞 号外 平成 5 年 1 月 19 日
		4◇	84	皇太子さま雅子さまご結婚	読売新聞 号外 平成 5 年 6 月 9 日

【DVD視聴コーナー】 1点

1	124日間のドラマチック 北九州博覧祭2001公式記録 JAPAN EXPO2001 「ジャパンエキスポ 北九州博覧祭 2001」	企画 北九州博覧祭協会 制作(協)北九州映像協会 協力(株)ジェイコム北九州 合計 47分	ハイライト 17分 会場計画 5分 会場整備 4分 会場演出 4分 市民参加 6分 開催までの歩み 8分 Festivalion 3分
---	---	--	---